

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和８年度 第４回 大平地域会議
開催日時	令和８年７月３０日（木） 午後６時３０分 開会 午後７時１９分 閉会
開催場所	大平総合支所新館 ２階第１．２会議室
出席者氏名	別紙１のとおり
欠席者氏名	別紙１のとおり
事務局職員職氏名	別紙１のとおり
その他出席者等	別紙１のとおり
会議事項	１ 開会 ２ 会長あいさつ ３ 議事 (１) 令和９年度実施分 地域予算事業計画書(案)について (２) 地域コミュニティ活性化事業について ４ その他 (１)大平地域会議だより(案)について〔連絡〕 (２)「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム」について (３)次回 大平地域会議 について ５ 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	０名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局 会長 会長 事務局	１ 開会 ２ 会長あいさつ ３ 議事 (１)令和９年度実施分 地域予算事業計画書(案)について <u>資料１の説明事項</u> ・令和９年度実施分として ①交通事故防止対策事業 ②地域コミュニティ活性化事業 ③大平地域の魅力発信事業 ３つの事業を、前回までの地域会議でも、令和９年度実施分の地域予算事業計画書としてお示ししてきたところです。 ・先日総合政策課、財政課とのレクを経て、前回の地域会議でお示しした資料と変更になった点について説明させていただきます。 ・一点目の変更点として、事業番号１：交通事故防止対策事業については、平成２８年度から継続事業として実施しています。令和９年度は大平南中学校での開催を

事務局	予定しています。令和 10 年度についても継続して実施していく考えから、事業概要書内の年度別事業費の令和 10 年度の部分に、現時点で分かっている数字ということで、令和 9 年度と同じ額を記載するようにしました。 • 二点目の変更点として、事業番号 2：地域コミュニティ活性化事業の事業概要書内、委託(連携)先を記載する欄があります。前回までの資料には、委託(連携)先として、大平地域会議を記載しておりました。ただ、地域政策課から、大平地域会議が市へ事業提案として提出する事業になるので、委託(連携)先にはなり得ないという考えの指摘がありました。そのため、委託(連携)先の欄は空欄にしています。ただ、この事業については、大平地域会議の委員の皆さんと実行委員会を組織して実行委員会形式で事業実施をしていく予定になっておりますので、引き続き実施に向け検討を進めていきたいと考えております。 • 三点目の変更点として、事業番号 3：大平地域の魅力発信事業についてです。この事業については、認定まちづくり実働組織との委託(連携)の事業となりますので、事業概要書内の委託(連携)先の部分に、認定まちづくり実働組織 大平わいわいテラスと記載させていただいています。そのことに連動して、市長へ提出する際の地域予算事業計画書の表紙についても、大平地域会議の会長名と、認定まちづくり実働組織おおひらわいわいテラス会長名の 2 団体の連名の形で市長へ提出する書面に修正をしました。市内 8 つの地域会議の中で、実働組織へ委託(連携)して、事業を計画した地域会議は、同じように連名の表紙ということで統一して作成する予定です。 • また、予算見積書について、前回までは、負担金で予算を立てていましたが、実働組織への委託(連携)の事業となりますので、市の予算は、委託料として予算の計画を立てる形に修正してあります。この修正も、市内 8 つの地域会議で横並びで統一したものです。これまで話し合ってきた、事業の内容については変更修正はありません。ただ、市の予算の項目が変更になります。 • 負担金と委託料と何が違うのか、ということになりますが、負担金ですと、その事業を行う団体や実行委員会へ、市へ事業費用を請求されればお支払するものになります。つまり、事業実施前に団体や実行委員会へ先払いで入金する形です。反対に、委託料となると、事業の実施を委託し、その委託した内容の業務の完了を確認させていただいた後の支払いとなります。なので、業務委託の契約を締結する、契約に基づき事業を実施していただくようになります。委託(連携)先の、大平わいわいテラスと内容や方法について話し合いをしていきたいと思います。以上が前回からの修正点になります。 <u>資料 1 についての質疑</u> なし (2) 地域コミュニティ活性化事業について <u>資料 2 の説明事項</u> • 令和 9 年度実施分として提案した、事業番号 2：地域コミュニティ活性化事業について、今後、大平地域会議において実行委員会形式で、事業を計画していく上
-----	---

	で、今後検討していく内容についての資料になります。本日は、何かを決めるというより、今後決めていく内容やスケジュール感を委員の皆さんにも把握していただきたいと思い資料を用意しました。実行委員会の名称や、会の規約の内容について、今日のところは委員の皆さんのご意見を伺いたいと思います。 ・実行委員会の開催の日程(地域会議開催日に合わせたほうがいいのかどうか)、また、実行委員メンバー(団体推薦により地域会議委員になっていただいている方等)についても、どのように考えたらよいか、ご意見を伺いたいと思います。 ・今後、組織する実行委員会ですが、地域予算での提案事業という面もあり、実行委員メンバーも変わっていくと思うので、継続していく実行委員会ではなく、単年度ごとに組織する実行委員会を想定しています。 <u>資料2についての意見交換</u>
委員 A	・実行委員会の名称については、AI モードでスマホで検索すると様々な名称が出てくるので参考にするのもいいと思う。
委員 B	・実行委員会名は、わかりやすい名称「令和9年度地域予算事業『防災イベント』実行委員会」などでいいのではないかな。
会長	・実行委員会名は、わかりやすい名称で、今後防災イベントの計画を立てていく過程で、防災イベントには、愛称のような名前を付けてもいいのではないかな。
委員 C	・合併前は、小学校区ごとに防災訓練を実施していたが、合併後には行っていない。市は自主防災組織を組織するよう勧めているが、自治会で自主防災組織を作り、活動できるところが、現状どれほどあるのか。難しい自治会がほとんどではないかな。
委員 D	・実際に水害が起こった際には、避難所となっている小学校の鍵がなく、開けられないという事例があり、現在は、自治会長が鍵を預かるようにしているようだ。学校施設についても、個人情報の観点や、設備の管理など、制限が増えていて、簡単にいかないことも多々あるようだ。
会長	・今回計画する防災イベントも、大平地域にとってためになるいいイベントになれば、スクエアドストレイト方式の交通安全教室のように、続けていく事業になるのではないかと考えている。
会長 事務局	・規約の中の役職で、会計一名とあるが、誰が務めるようになるのか。 ・会の通帳などは、事務局の地域づくり推進課で管理するようになると思う。ただ、実行委員の中で一名の方に会計を務めていただき、会の経理を把握しておいていただきたいと思っている。
会長	・その他にご意見なければ、本日の議事については以上で終わりにしたいと思います。次回以降も、引き続き委員の皆さまにはご検討ご協力をお願いします。
事務局	4 その他 (1)大平地域会議だより(案) について〔連絡〕 広報とちぎ9月号(令和8年8月20日発行)に折り込みで発行予定。

	(2)「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム」について 参加いただいた委員より当日の様子を報告をいただいた。 (3)次回 大平地域会議 令和8年8月27日(木)午後6時30分から 大平総合支所 新館2階 第1.2会議室 5 閉会
--	--

別紙1 出席者、欠席者、事務局職員、その他出席者等

<委員> 出席 10 名／定員 15 名

出席	職	氏名	出席	職	氏名
○	会長	藤倉 竜広		副会長	三井 健
○	委員	青木 晴美		委員	青木 理恵
○	委員	植原 瑞恵	○	委員	大豆生田 全毅
○	委員	川井 正枝		委員	川田 健太郎
○	委員	小堀 和子	○	委員	清水 泰子
○	委員	田村 誠志		委員	津布楽 俊夫
○	委員	富田 昌敏	○	委員	仲三河 マコト
	委員	柳田 和子			

<事務局>

出席	職	氏名
○	大平地域まちづくりセンター 所長 （大平地域づくり推進課 課長）	渡辺 由夫
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 係長）	三浦 正明
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 主査）	山口 友香
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 主査）	桑野 貴大